

# 温室効果ガスを抑制した水熱処理と担体式高温消化による固形燃料化技術実証事業

## 実証事業実施者

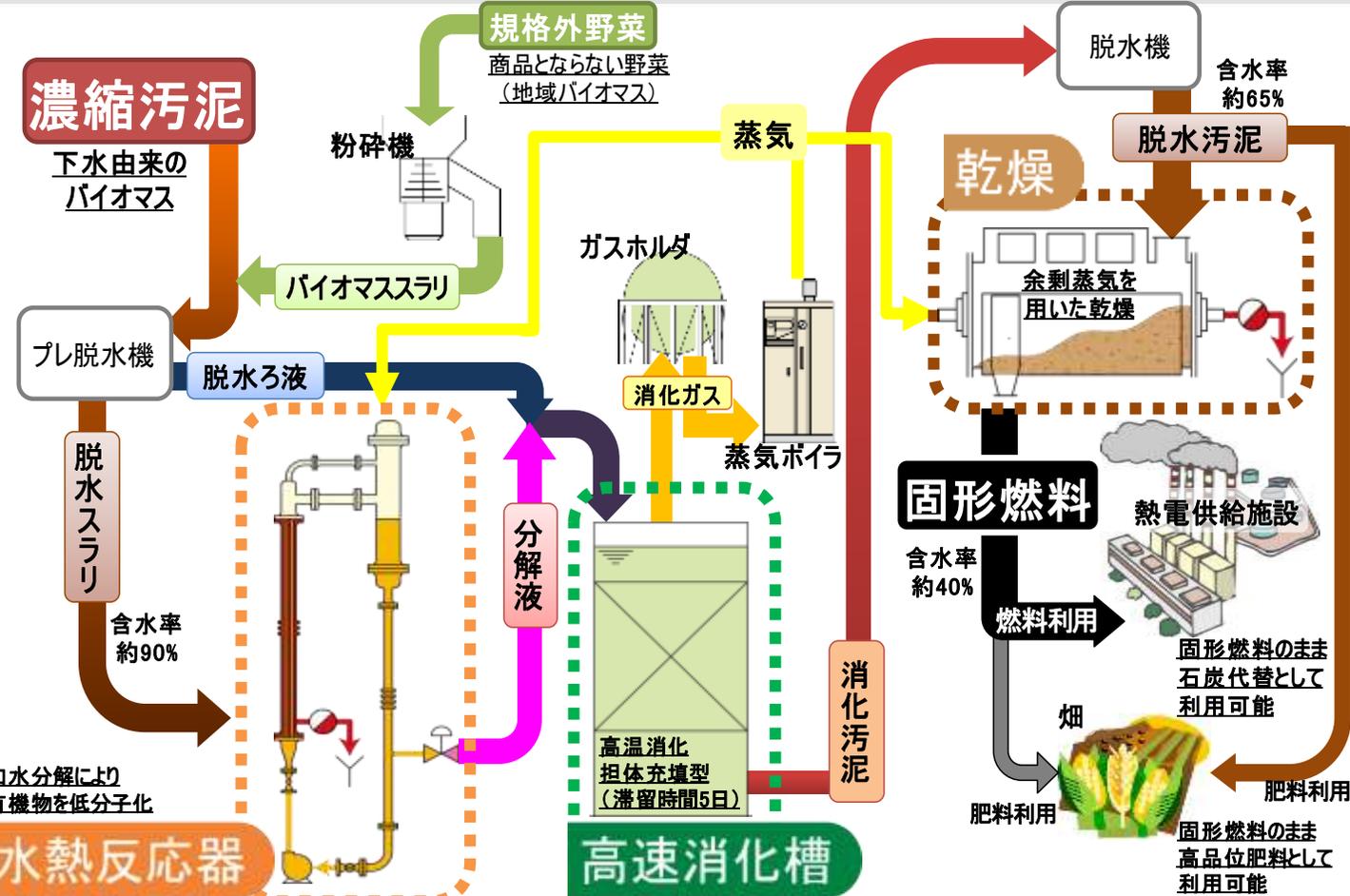
長崎市・長崎総合科学大学・三菱長崎機工株式会社 共同研究体

## 実証フィールド

長崎市東部下水処理場

## 実証の概要

プレ脱水(濃縮汚泥と地域バイオマスの混合調質)、水熱反応(有機物の加水分解)、高速消化(高温消化)、脱水・乾燥(燃料化)等を組み合わせたシステム技術の実証



高性能の連続式水熱反応器を用いて、下水汚泥中の易分解性有機物や余剰汚泥等を消化しやすいカルボン酸類に加水分解させた後、高速で消化ガスに転換させ、本来、燃料としてそのまま利用できる、紙類等の難分解性有機物のみを残存させて固形燃料化

○製造される固形燃料化物をそのまま有機肥料として田畑に施肥することを可能とし、リン資源確保へ貢献。  
○これまで自治体が負担してきた汚泥処分費用を大幅に削減することが可能。